

会 議 録

会 議 名	第47回野田市市民活動支援センター運営協議会
議 題	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 令和4年度市民活動支援センターの登録状況について</p> <p>(2) 令和4年度市民活動支援センターの利用状況について</p> <p>(3) イオンノア店内会議室1・2の貸出中止と8階旧レストラン会議室の貸出延長について</p> <p>(4) 「のだ 市民活動ふれあいフェスティバル 2022」 第5回市民活動元気アップふえすたの進捗状況について</p> <p>(5) 令和5年度実施分野田市市民活動団体支援補助金について</p>
日 時	令和4年10月28日(金) 午後2時から午後3時30分まで
場 所	野田市役所高層棟8階 旧レストラン会議室
出 席 委 員	<p>会 長 竹澤 勇司</p> <p>副会長 立山 喜弘</p> <p>委 員 岩井 勝治、北倉 恵美子、加藤 眞智子、 名代 ちよ子、芝田 栄太郎</p>
欠 席 委 員	委 員 武智 多恵子
事 務 局 等	<p>市民生活部長 宮澤 一弥</p> <p>市民生活課長 田中 洋介</p> <p>市民生活課長補佐 大野木 亮二</p> <p>市民生活課コミュニティ係長 荒木 智子</p> <p>市民活動支援センター長 関口 一夫</p> <p>主任コーディネーター 釜田 正雄</p> <p>コーディネーター 荒井 ハツヨ、渡邊 勝男</p> <p>支援補助員 向佐 美知子</p>
傍 聴 者	無し
議 事	第47回野田市市民活動支援センター運営協議会の会議の概要は、次のとおりである。

1 開会

事務局から開会を宣言。

会議の成立について報告。

会議録作成のため、録音をすることについて了解を得た。

傍聴人の申出がなかったことを報告。

2 市民生活部長挨拶

宮澤市民生活部長挨拶

3 議事

報告事項(1) 令和4年度市民活動支援センターの登録状況について

(資料 報告(1))

議長(竹澤会長)

報告事項(1)について、説明を求めた。

向佐支援補助員

報告事項(1)「令和4年度市民活動支援センターの登録状況について」を説明した。

議長(竹澤会長)

報告事項(1)について、委員に意見を求めた。

各委員

特に無し

議長(竹澤会長)

意見がないようなので、報告事項(1)については以上を報告事項とする。

報告事項(2) 令和4年度市民活動支援センターの利用状況について

(資料 報告(2)-1~3)

議長(竹澤会長)

報告事項(2)について説明を求めた。

渡邊コーディネーター

報告事項(2)「令和4年度市民活動支援センターの利用状況」を説明した。

議長(竹澤会長)

報告事項(2)について、委員に意見を求めた。

議長（竹澤会長）

相談業務で、その他の内容 27 件のうち、特筆すべきものがあつたか教えていただきたい。

渡邊コーディネーター

一番多いのが、広報誌の市民活動つうしんの掲載依頼及び校正関係が 14 件。次は、同じく広報関係で、各加盟団体からのリーフレットやホームページの掲載依頼が 10 件。次いで、イベント関係での連絡や相談である。

芝田委員

令和 4 年度の 8 階旧レストラン会議室とイオンノア店内会議室の利用について、昨年度より利用件数が増えているが、コロナ禍前の利用状況のどの辺まで回復したか伺いたい。

釜田主任コーディネーター

8 階旧レストラン会議室とイオンノア店内会議室の利用件数は 68 件、利用団体が 24 件ということで、令和 3 年度と比較すると増加しているが、令和元年度と比較すると、まだまだ利用人数の制限や貸出中止もあつたので、コロナ禍以前にはまだ戻っていない状況である。

北倉委員

3 ページの下の表の⑦パソコンの相談件数が増えているが、これはインターネットを利用した相談なのか、若しくはワード、エクセル等の日々の事業に係る相談が多いのか伺いたい。

向佐支援補助員

インターネットを使った相談もあるが、チラシづくりや、ワード、パワーポイント、エクセルの相談が一番多くなっている。

議長（竹澤会長）

同じ団体の方が何回も来て、なかなかできないとの相談なのか。

向佐支援補助員

以前は、そういう傾向もあつたが、今年度に関しては、毎回違う団体が来ている傾向がある。今までは、パソコンを敬遠されていた方も、一緒に頑張ってみましょうと声かけしたら、相談に来てくれたこともあるので、うれしく思っている。

立山副会長

5 ページで、フリースペース、8 階旧レストラン会議室は、それぞれ現在は多く利用されているとの結果だと思うが、令和 3 年度辺りはコロナの影響があつたのか。相

談が増えることはいいことだが、実際はコロナの影響で利用は減り、今年度は増えたというふうに理解してよろしいか。

釜田主任コーディネーター

コロナ前の令和元年度と比べると、令和3年度は減っている。令和4年度は増えているが、先ほどお答えしたように、令和元年度から比べると大幅にまだ減っているというのが現状である。

議長（竹澤会長）

他に意見がないようなので、報告事項（2）については以上を報告事項とする。

報告事項（3）イオンノア店内会議室1・2の貸出中止と8階旧レストラン会議室の貸出延長について

（資料 報告（3））

議長（竹澤会長）

報告事項（3）について、説明を求めた。

関口センター長

報告事項（3）「イオンノア店内会議室1・2の貸出中止と8階旧レストラン会議室の貸出延長について」を説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項（3）について、委員に意見を求めた。

北倉委員

8階旧レストラン会議室は貸出延長ですが、もしコロナが終了したら、またクローズして、何になるのか。

宮澤部長

元々、名前にもあるようにレストランでやっていたということで、何らかの形で復活をさせたいというのが、考えとしてはある。ただ、それがどんなふうに見えるかというのは何も決まってない。一旦は9月末をもって、貸出しをやめましょうという形で、イオンの方に全部移転していただくことでやっていたが、急遽、ワクチンの集団接種の話が出て、これまで集団接種をやっていた文化会館も、利用の希望が非常に多いということもあって、文化会館は9月までで集団接種は終わり、10月以降は普通に貸出しをしている、という状況である。今のところは、またレストランとして使えればということで考えている。ただ、どういう形になるかというのは、まだはっきりしていないというところである。

議長（竹澤会長）

将来的には、また復活させたいというような説明だったが、市民の方から、レストランを復活しないのかという問合せが、実際にあるのか。

宮澤部長

又聞きの話になるが、そういう声はあるように聞いている。実際、この庁舎を建てたときに、平日の夜もレストランが営業していた。それが、利用が伸びないということで夜の営業を止めて、職員の勤務時間内の営業時間にしたが、PRが足りなかったのか、レストランのことを知らなかったという人がいたようで、知っていたら行ったのに、という声があるようなので、今後は、その辺も踏まえてPRをしていきながら、ということになると思う。

議長（竹澤会長）

他に意見がないようなので、報告事項（3）については以上を報告事項とする。

報告事項（4）「のだ 市民活動ふれあいフェスティバル 2022」

第5回市民活動元気アップふえすたの進捗状況について

（資料 報告（4））

議長（竹澤会長）

報告事項（4）について、説明を求めた。

釜田主任コーディネーター

報告事項（4）『「のだ 市民活動ふれあいフェスティバル 2022」』

第5回市民活動元気アップふえすたの進捗状況について」を説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項（4）について、委員に意見を求めた。

岩井委員

是非成功させたい。PRのところで、民間紙、記者クラブの活用は。

釜田主任コーディネーター

記者クラブについては、定例記者会見でのイベント案内を受けた形で案内している。新聞は、毎回、記者発表でのイベント情報としては出している。できるだけ身近に皆さんに伝わるような形で考えたのがちいき新聞で、ちいき新聞は、ライターが野田市在住の方なので、今回、力を入れていただいている。

名代委員

参加させていただいて有り難い。新型コロナウイルス感染対策について、氏名等の

報告をお願いしますということで、先日の産業祭では、テントごとに名前と検温をお願いしますということで説明していたら、当日、名前はいりませんということになった。あれ、と思ったが、その方が担当者が楽だった。氏名の報告は、担当者だけ報告するのか、その辺を確認したいのと、あと受付は1か所、どんな形にするのかをお伺いしたい。飲食は別というが、産業祭のときに、飲食はテーブルを別に用意していたが、とても足りなかった。飲食は、産業祭並みに出るのか。飲食が別というと、場所がどの辺になるのか。

釜田主任コーディネーター

氏名の報告は、参加団体の場合と、一般来場者の大きく二つに分かれる。

参加団体については、感染防止対策に基づいて、チェックリストを出していただく。検温をして体調が大丈夫かどうかという形で全部やってもらって、かつマスクの着用、消毒。そういったものをちゃんとやりますというのを、参加団体ごとに出してもらう。

氏名については、基本的には、誰が参加しているのかを把握しておけばいいということになっている。産業祭については、外でやるイベントということで、名簿の作成はいらぬということで、建物内は引き続き名簿が必要ということになっており、少し違いがある。ということで、参加団体については、名簿を保管するのと合わせて、元気アップふえすたについては、市の市民活動保険の対象として届出するので、誰が、前日の準備、当日の本番に来ているかというのを把握する必要があるので、それは参加団体として全員に出してもらう。

一般来場者については、受付等があるが、まずは建物内の中央公民館のロビー、野田ガスホールの入口、勤労青少年ホームの体育室の入口。それぞれの建物の入口に、受付を設ける。そこで、検温、消毒、名簿の提出。ただし、名簿の提出については、のだ市民活動ふれあいフェスティバル 2022 の一つの大きなイベントというくくりの中で、例えば中央公民館で名簿を出した人については、文化会館に行ったときには、検温、消毒はやるが、名簿はもう既に出したということを書いてもらえれば、出さなくてもいいという形で、1回は出してもらうという形を採る。時計の広場については、販売コーナーだが、外ということで、産業祭の外の会場と同じになり、検温、消毒をさせていただく。そこで、当日の案内のパンフレットを渡して、自由に見ていただく。受付としては、建物内が3か所、外が1か所。名簿の提出は1か所だが、それぞれ建物内での確認をさせていただくということになる。

飲食については、ふれあいハートまつりの参加団体が飲食の団体になっていて、例

年より少なくなっているという状況と、産業祭と同じように、長机を二つ合わせて、真ん中に飛散防止のスクリーンを立ててということで実施する。時計の広場と、中央公民館と総合福祉会館の2階の通路の下の駐輪場のところと、文化会館のところと2か所に設定して、机は16ずつ、32台を予定している。ふれあいハートまつりの事務局の社会福祉協議会にも確認したが、例年よりは飲食の販売が少ないので減らそうかと言ったが、産業祭でも飲食場所が足らなくて、違うところで食べるというのが見受けられたので、多めに設置しようということで、今のところこの台数を考えている。参加団体については、外の飲食が混むようであれば、それぞれの控室での飲食、女性、男性の控室、関係者の控室がある。そこで黙食で食べてもらうということで説明している。

今、コロナウイルス感染対策について取りまとめをしていて、最終的に11月18日の参加団体打合せ会議に出す前段で、文化会館、中央公民館それぞれの施設管理者との最終協議があるので、このままいけると思うが、そういう形で調整をして、管理者の了解を得ながら、対策を講じていきたい。

加藤委員

市民活動ふれあいフェスティバルの名称の読み方で、先ほど「にいまるにいいい」でも「にせんにじゅうにねん」でもいいと言われたが、私たちは音訳のグループで、視覚障がい者の方にきちんとお伝えしなくてはいけないので、できましたら統一していただきたい。

釜田主任コーディネーター

最初にこれをどう読むかというときに、事務局打合せ会議でも議題にはしたが、できれば「にいまるにいいい」の方がいいかな、と思っている。ただ、2022年と読んで、それが駄目というふうにはならないが、原則は、できれば「にいまるにいいい」でお願いしたいと思っている。

岩井委員

準備と当日の役割は、どんな仕事があるのか。リストにしてもらえれば、私はこれをやりますと言いやすくなる。

釜田主任コーディネーター

前日の準備は、事務局と参加団体でやるので、運営協議会の皆さんの御協力を得るとすれば、今まで第4回までやってきたが、受付の部分。今回は、先ほど言ったように、検温、消毒、名簿、それからパンフレットの配布というのがあって、もう一つ重要なのが、パンフレットの中にスタンプラリーが入る。スタンプラリーが終わった後

にチェックをして、スタンプラリーの景品を渡す。この作業を、例年、お手伝いしていただいたので、その辺を協力していただければ有り難い、と考えている。場所も、例年のロビーのところで中心的にやる考えでいるので、その辺の御協力が得られれば有り難い。

北倉委員

市民活動元気アップふえすたは第5回。市民ふれあいハートまつりは第21回。福祉のまちづくりフェスティバルは数え切れないので、第何回というのがないということか。

釜田主任コーディネーター

担当部局ではないのだが、確認したところ、回数はないということだった。

名代委員

一緒にやってきたような気がする。私としては、福祉のまちづくりフェスティバルの方が古い気がする。

釜田主任コーディネーター

回数は不明だが、相当長い歴史があるようだ。

経緯をたどると、ふれあいハートまつりと福祉のまちづくりフェスティバルは、別々にやっていたというのは、聞いている。それが、いつからかは分からないが、一緒になっているということで聞いている。

北倉委員

あえて回数を表記しないという選択をしているのであれば、それでいい。なぜかと疑問がわいたので。

名代委員

歴史があるのなら、第何回とした方がいいと思う。

釜田主任コーディネーター

私も、同時開催でやると決まったときに、気になって第何回か聞いた記憶があるが、事務局の考えで、回数をつけないというふうに聞いている。

議長（竹澤会長）

岩井委員の方から先ほどお話がございましたが、役割の確認をさせていただきました。主に、例年のように中央公民館の受付ということで、ふえすたの方を中心に行う。受付、検温、消毒、パンフレット、スタンプラリー、景品を渡すなどを例年やられておるとは思うが、人数がかなり多いと思う。緊急時のコロナの影響で具合が悪くなったとか、その辺が個人的には心配である。そこまで考えるとどうなってしまうのかとい

う問題も出てくるが、連携を取りながらやっていく必要があると思うので、その辺の御説明をお願いできればと思う。

釜田主任コーディネーター

もちろんそれも課題となっており、特に野田ガスホールについては、きちんとした人数配置が示されており、どこに何人配置というのがある。逆に、三つの事務局の職員の数と照らし合わせると、人数が足りないのが、今事務局で考えているのは、次回の最終のときをお願いする予定だが、参加団体の皆さんに協力を仰ごうと思っている。例えば、野田ガスホールの大ホールで発表する団体。午前と午後の部に分かれるが、その中から、少なくとも各団体1人とか、参加をお願いしたい。中央公民館、総合福祉会館の展示、実演とか相談のところからも、時間で交代という形で、今、事務局で、各係の事務分担表を作っている。それで、今入れているのは、市民活動支援センター、市民生活課、あとは事務局の人数を入れたが、足りない。その辺をどうするか。事務局の打合せ会議をやって、代表者連絡会議にかけて、最終的に11月18日に予定している参加団体打合せ会議に、ふれあいハートまつりの場合は、実行委員会に協力を仰いでいこうということで考えている。是非、参加団体にも、協力を願いながらやっていきたいと思っている。

議長（竹澤会長）

11月18日の実行委員会で最終的に確認するというので、非常に大変かと思うがよろしくをお願いしたい。

芝田委員

個人的なことを言って申し訳ないが、私も参加団体としても参加するので、できるだけはっきりと参加団体、運営協議会のメンバーで、具体的に示していただければ大変助かる。

釜田主任コーディネーター

先ほど言ったように、運営協議会委員の皆さんは、参加団体側からの立場というのは重要なので、それを最優先していただいて、手が空いていけばということ。

運営協議会の皆さんをお願いするのは、例年通りやっていた中で考えていくと、受付業務のところ、前回は責任者として、向佐支援補助員がついている。向佐が責任者となって、私の記憶だと、前回は竹澤会長、岩井委員、武智委員に御協力を頂いて、受付をやっている。コロナに係る対応については、別途、人を張りつけなくてはいけないので、今、原案を作成中なので、運営協議会の委員の皆様については、そこをお手伝いいただきたい。

当初は、産業祭が総合窓口を1か所作って、外で受付をするという話があったので、元気アップふえすたでも時計の広場で総合窓口を1か所作って、そこで全部やっ
てしまえば、他の場所は、確認だけでいいかなと思っていたが、竹澤会長や岩井委員
に外の受付はお願いできない。12月で天気が良ければいいが、体調と相談しながらで
結構ですので、御協力をいただければと思う。

議長（竹澤会長）

どんな場所でも、マスクを忘れて入ってくる方が必ずいらっしゃる。そのときに、
マスクをしてください、マスクがないと入れません、と言うのか。又は、マスクを用
意しておくのか。

釜田主任コーディネーター

マスクを忘れた方用の予備は、たくさんは用意できないが、用意する。マスクにつ
いては、協力という形にさせていただきたい。ただ、産業祭や日常を見ている、今
のところマスクをしていない方がいないという認識があるので、そんなには心配して
いない。ただ単純に忘れた、という方がいるかもしれないので、予備を少し用意し、
各会場の受付の検温、消毒をするところに置いておけばと思っている。

議長（竹澤会長）

他に意見がないようなので、報告事項（4）については以上を報告事項とする。

報告事項（5） 令和5年度実施分野田市市民活動団体支援補助金について

（資料 報告（5））

議長（竹澤会長）

報告事項（5）について、説明を求めた。

田中課長

報告事項（5）「令和5年度実施分野田市市民活動団体支援補助金について」を説
明した。

議長（竹澤会長）

報告事項（5）について、委員に意見を求めた。

名代委員

今のお話だと、市民が5人そろったら、公益性のない趣味の形でも、補助金を出す
ということか。どちらかと言ったら、市を良くしようと思って活動している人たち
と、それから趣味で5人集まったら、何年たっても同じお金をもらうというのは、納
得できないところがある。それは、この規則を作る意味で難しいから、公益性が上が

らないという判断が難しいからこうなったのか。それとも、市民が楽しんでやればいい、みたいな感じで、5人そろってれば、お金を払うよ、みたいな感じがとてもしてしまう。最初の目標はそれだったのに、今の話だと、趣味で5人そろってれば、公益性がないという言い方も少しおかしいと思う。私は公益性のない団体で踊っていて、公益性のある団体にも入っている。どちらの活動が大変かという、あいねこは自分たちでお金を出して、猫1匹と戦っている。保健所と行政がもう少し力を入れれば違うのではないかと、いつも思っている。そういう団体と、それからただ楽しく踊っている団体が同じ金額がもらえるというのは、少しおかしい。楽しかったら、自分たちでお金を出せばいいし、大変なところにお金を出してあげたいと思う。その辺はどうか。

宮澤部長

公益性があってもなくても、誤解をされる場所があるのかなと、今のお話を伺って思う。堅い話になってしまって申し訳ないが、こういう補助金を出す、出さないというのは、地方自治法という法律があり、公益上必要があると認められる場合に、その補助金を出すことができるという話になっている。改めて、規則に公益性をうたわなくても、公益性、公益上必要と認められるという縛りがかかってくる。

確かに、そういった議論があるということは、市の方も承知している。ただ、社会の変遷の中で、非常に市民同士の関わり合いが希薄になっている。自治会活動も、一生懸命やればやるほど、一步引いてしまう人も出てくるので、加入率もどんどん下がり、60%くらいになってしまうのではないかと、という話もある。

趣味、娯楽の関係でも、人と人とのつながりを持つという意味では、という話になる。そのような考え方で、更に健康増進、個人の健康が、良い方に向いていただけるのであれば、どこまで保険料、保険財政に影響するかは分からないが、そういった考え方で、今回こういう改正をさせていただこうということになった次第である。

名代委員

5人そろって名前を連ねて、活動の内容を書いておけば、お金をもらえるのではないかと、思ってしまう。その辺の活動内容の確認、振り返り、フィードバック。そういうところをきちんとしていただきたいと思う。

議長（竹澤会長）

その辺は気になると思うが、補助金審査会でも、プレゼンテーションを通じ、この団体はどうかということ、委員の皆さんの目で確認する。この団体は何をやろうとしているのか。何のためにやりたいのか。どういう影響を及ぼしていくのか。そ

の辺を審査する場があるので、5人がいれば補助金が出るというものではない。その辺は、補助金審査会委員の役割があるから、その辺を理解していただきながら、またお力添えいただければ有り難い。

他に意見がないようなので、報告事項（5）については以上を報告事項とする。

大野木市民生活課長補佐

次回の運営協議会の日程について、1月30日（月）か2月1日（水）のいずれかで開催したいと考えている。時間と場所は今日と同じ午後2時から、8階旧レストラン会議室で開催したいが、都合はどうか。

議長（竹澤会長）

次回の運営協議会の日程について、委員に問うた。

《各委員に確認》

委員に問うた結果、2月1日（水）に決定する。

大野木市民生活課長補佐

議題については、支援センターの登録状況や利用状況などを予定している。

議長（竹澤会長）

会議の閉会を宣言した。